平成２２年度当初予算のポイント　「環境と共生し、心豊かで元気あふれる美しい県都」を目指して　一般会計予算　975億6千2百万円

ツツジ

予算編成にあたって

本市のさらなるステップアップを目指し、健全な財政運営を堅持しながら、緊急経済対策に努めるとともに、市民の皆様の安心・安全な暮らしの実現をより確かなものとする予算編成としました。

予算編成の基本的な考え方

歳入の根幹となる市税は、厳しい雇用情勢や企業業績の低迷により、市民税の大きな減収を見込んでいますが、地方交付税においては、国の地方財政対策における地方の財源確保の方針により、前年度より増収を見込んでいます。

しかし、社会保障関係経費や公債費負担が依然として高水準にある中、将来的な財政需要や歳入不足を補う財政調整基金の状況を踏まえると、今後も徹底した健全な財政運営を行う必要があります。

こうした中、平成22年度の一般会計予算は、総合計画に掲げる主要事業のさらなる推進や子育て支援など市民の安心・安全な暮らしの実現をより確かなものとするため、約976億円（対前年度比6.1%増）を確保しました。

予　算　の　規　模

単位：百万円

会計名		平成22年度	平成21年度	増減額	増減率
一般会計		97,562	91,994	5,568	6.1%
特別会計	モーターボート競走事業	34,521	39,001	△ 4,480	△11.5%
	国民健康保険事業	27,107	27,470	△ 363	△1.3%
	介護保険事業	20,418	19,475	943	4.8%
	老人保健医療事業	5	39	△ 34	△88.1%
	後期高齢者医療事業	4,685	4,581	104	2.3%
	風力発電事業	101	98	3	3.2%
	簡易水道事業	1,169	990	179	18.1%
	農業集落排水事業	537	539	△ 2	△0.3%
	土地区画整理事業	1,160	1,356	△ 196	△14.4%
	下水道事業	11,223	12,462	△ 1,239	△9.9%
	住宅新築資金等貸付事業	174	470	△ 296	△63.0%
	榛本財産区	1	1	0	△6.7%
	定額給付金給付等事業		32	△ 32	皆減
	小　計	101,101	106,514	△ 5,413	△5.1%
企業会計	水道事業（支出）	9,484	10,132	△ 648	△6.4%
	工業用水道事業（支出）	26	23	3	16.1%
	駐車場事業（支出）	288	318	△ 30	△9.5%
	農業共済事業（支出）	254	221	33	14.7%
	小　計	10,052	10,694	△ 642	△6.0%
合　計		208,715	209,202	△ 487	△0.2%

歳入の見込

・市税

個人所得の大幅な減少や企業収益の急激な悪化など、依然として厳しい経済状況が続くことから、前年度比6.4%減（25億7千万円減）の375億1千万円を見込んでいます。

・地方交付税

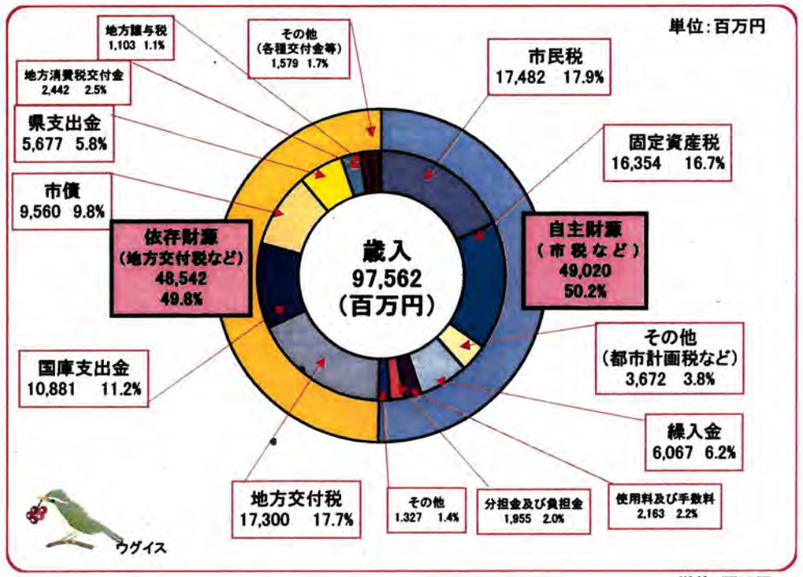
「地域活性化・雇用等臨時特例費」の創設による別枠の加算などの措置が講じられることなどから、前年度比13.1%増の173億円を見込んでいます。

・国県支出金

子ども手当支給に伴う国県負担金、緊急雇用創出基金事業市町等補助金などの増額により、前年度比38.9%増の165億6千万円を見込んでいます。

・市債

実質的な地方交付税である臨時財政対策債により地方財源の確保を図るほか、合併特例事業債を活用した主要事業を展開するため、95億6千万円を見込んでいます。



ウグイス

単位：百万円

自主財源 歳入科目名称		予算額	構成比
市税	市民税	17,482	17.9%
	固定資産税	16,354	16.7%
	その他（都市計画税など）	3,672	3.8%
	小計	37,508	38.4%
繰入金		6,067	6.2%
使用料及び手数料		2,163	2.2%
分担金及び負担金		1,955	2.0%
その他		1,327	1.4%
計		49,020	50.2%

依存財源 歳入科目名称	予算額	構成比
地方交付税	17,300	17.7%
国庫支出金	10,881	11.2%
市債	9,560	9.8%
県支出金	5,677	5.8%
地方消費税交付金	2,442	2.5%
地方譲与税	1,103	1.1%
その他（各種交付金等）	1,579	1.7%
計	48,542	49.8%

平成22年度の主な事業

1 美しい環境と共生するまちづくり

- 新最終処分場整備事業　7億910万円
- 道路橋りょう維持事業　10億1,110万円
- 公共下水道事業　31億7,060万円
- 新斎場整備事業　2,770万円

2 安全で安心して暮らせるまちづくり

- 子ども手当給付事業　49億4,000万円
- 公共施設耐震化事業　11億3,870万円
- 地域防災情報通信システム整備事業　8億3,800万円
- （仮称）美里榊原分署新設関係事業　4億7,070万円
- 二次救急医療体制事業（医師応援）　2,510万円
- 画像による遠隔医療システム整備事業　5,500万円
- 子ども医療費助成事業　4,400万円
- 預かり保育事業　4,250万円

3 豊かな文化と心を育むまちづくり

- 給食センター建設関係事業　4億2,410万円
- 学校施設給食受入等施設改修事業　3億530万円
- 総合的なスポーツ施設整備事業　1,150万円
- 津城跡整備活用調査研究事業　2,950万円
- 多気北畠氏遺跡整備活用調査研究事業　1,790万円

本市は、国の平成21年度補正予算（第2号）による「地域活性化・きめ細かな臨時交付金」（7.3億円）と前年度繰越金等の財源（3億円）を活用し、総額約10億円の平成21年度補正予算（第7号）を編成し、平成22年度へ繰り越します。これにより、『平成22年度の実質的な一般会計の規模』は、約986億円となります。

4 活力のあるまちづくり

- 有害鳥獣対策事業　4,180万円
- 地域農業基盤創生事業　230万円
- 地域イノベーション人材育成基盤整備事業　880万円
- 中心市街地活性化事業　960万円
- 新都心軸整備推進事業　630万円
- コミュニティバス等運行事業　1億8,350万円
- 大河ドラマ「江」関連事業　3,790万円

5 参加と協働のまちづくり

- 市民活動推進交付金　300万円
- 住民自治協議会推進モデル事業　200万円
- 津市元気大学事業　80万円

特色ある地域振興のための取組

- 地域かがやきプログラム事業　1億3,830万円
- 地域活動振興事業　1,880万円

雇用対策のための取組

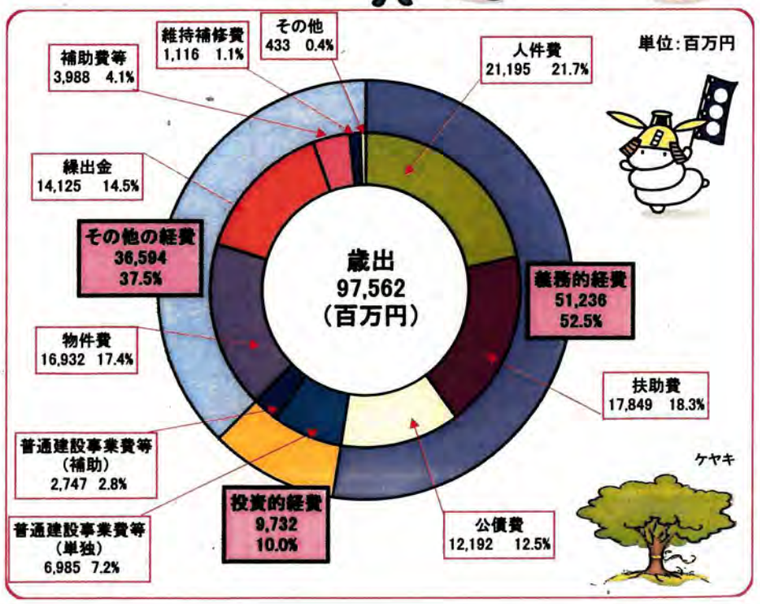
- 雇用対策事業　5億1,560万円

美杉の森の妖精 "みすぎん"

藤堂高虎公入府400年記念事業マスコットキャラクター "シロモチくん"

単位：百万円

歳出（性質）		予算額	構成比
義務的経費	人件費	21,195	21.7%
	扶助費	17,849	18.3%
	公債費	12,192	12.5%
	小　計	51,236	52.5%
投資的経費	普通建設事業費等（単独）	6,985	7.2%
	普通建設事業費等（補助）	2,747	2.8%
	小　計	9,732	10.0%
その他の経費	物件費	16,932	17.4%
	繰出金	14,125	14.5%
	補助費等	3,988	4.1%
	維持補修費	1,116	1.1%
	その他	433	0.4%
	小　計	36,594	37.5%
合　計		97,562	100.0%



ケヤキ